

作期分散が可能な水稻飼料米用品種の導入に向けて

1 普及活動のねらい

海部北部地域の水稲作付は極早生品種「コシヒカリ」と中生品種「あいちのかおり SBL」に集中しており、収穫や乾燥調製等の作業の集中が問題となっている。また経営所得安定対策の見直しから、飼料米用専用品種の作付けが必要となっている。令和6年度から作期分散が可能な特認品種の「とよめき」が導入されており、「とよめき」の定着と、新たな品種「たちはるか」の検討を支援した。



写真 収穫前のたちはるか

2 普及活動の成果

調査結果は表のとおりであった。調査結果から、「とよめき」の移植栽培は安定した高い収量が得られるが、直播栽培は収量が不安定であり、安定栽培技術の確立が必要であること、「たちはるか」は「あいちのかおり」と同等以上の収量が得られ、作期分散が可能な品種であることが分かった。

次年度の栽培について、生産者やJAと検討した結果、「とよめき」は継続して栽培が取り組まれることとなった。「たちはるか」は主食用米や加工米の情勢も踏まえ、導入にはならなかったが、令和6年度には県特認品種となり、将来的に晩生の飼料米用品種が必要となったときの現地適合性を確認することができた。

表 調査結果

品種名	試験ほ場	移植 /直播	移植日 (播種日)	出穂期	成熟期	稈長 cm	穂長 cm	穂数 /㎡	精玄米 重 kg/10a	全刈 収量 kg/10a	備考
とよめき	愛西市山路町	移植	5月上旬	7/23	9/1	86	24.0	386	-	666	倒伏4
	飛島村	移植	5月上旬	7/24	-	88	20.7	359	-	718	倒伏0
	津島市深坪町	V直	2月中旬	7/18	8/30	70	22.8	384	538	356	倒伏0、雑草多発
たちはるか	愛西市戸倉町	移植	6/15	9/5	10/12	86	21.8	320	596	600	倒伏0
	弥富市大谷	移植	6/12	9/3	10/10	80	21.1	405	615	528	倒伏0
あいちのかおり	愛西市戸倉町	移植	6/19	9/1	10/7	88	22.7	363	619	510	倒伏1
	弥富市大谷	移植	6/13	8/29	10/6	83	21.9	370	561	546	倒伏1

3 普及活動の内容

極早生品種「とよめき」、晩生品種「たちはるか」の2品種の実証ほを設置し、成熟期調査、収量調査等を実施した。またカメムシ類による被害を防止するため、出穂期予測に基づく適期防除の実施を支援した。

調査結果を取りまとめ、2品種の収量性、現地適合性等を生産者やJAに情報提供し、導入の検討を支援した。

重点課題名	2 海部地域の水田作を担う経営体の安定維持
普及事項名	(2) 作期分散が可能な飼料用専用品種の導入